



『どうぶつのおやこ』

数内 正幸／画
福音館書店(E-ヤブウ)

ねこの親子、くまの親子、きりんの親子…。子どもたちの大好きな動物の親子が写実的に描かれている、文字のない絵本です。動物たちには呼びかけたり、おはなしを作ったり、自由に読んでみてください。

* その他のおすすめ本 *

『ぴよん』

まつおか たつひで／作・絵 ポプラ社(E-マツオ)

『がたんごとんがたんごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店(E-アンサ)

『ぶうぶうぶう』

おーなり由子／ぶん はたこうしろう／え

講談社(E-ハタコ)

『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ／ぶん

やぎゆう げんいちろう／え

福音館書店(E-ヤギユ)

『くっついた』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社(E-ミウラ)

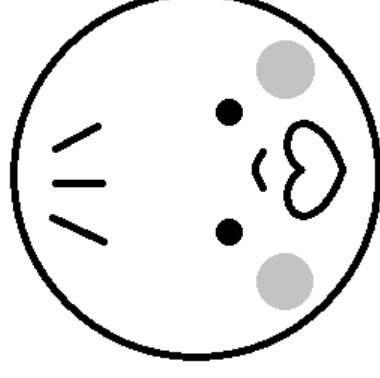
『くっくっく』

長谷川 摂子／文 小川 忠博／写真

福音館書店(E-オガワ)

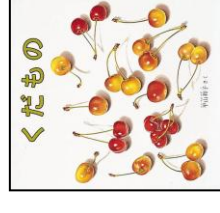
『ゆめにここにこ』

柳原 良平／作・絵 こぐま社(E-ヤナギ)



あかちゃん えほん

【0歳～】



『くだもの』

平山 和子／さく
福音館書店(E-ヒラヤ)

そのままの姿と、食べやすく切られた形とで、交互に描かれたくだものがとってもおもしろい！「さあ どうぞ」の言葉に、思わず手をのばしたくなります。最後は自分でバナナの皮をむけるかな？

シリーズに『やさしい』『おにぎり』

『いちご』があります。



『ぶーぶーぶー』

こかぜ さち／ぶん
わきさか かつじ／え
福音館書店 (E-ワキサ)

赤い自動車は「ぶーぶーぶー」。青い自動車は「ぶーぶーぶー」。大きい自動車も「ぶわーん」とやります。

カラフルな自動車がそれぞれの音を鳴らしながら、次々と登場します。読んでいるうちに、子どもたちも思わず「ぶーぶーぶー」。

* はじめに *

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となります。

このリストでは、0歳位からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。絵だけで楽しむ絵本、赤ちゃんの身近にある「もの」の絵本、わらべうたの絵本…。ぜひ、赤ちゃんにお気に入りの1冊を見つけてあげてください。

平成27年6月
編集発行：福島市立図書館 (TEL 531-6551)

【福島市立図書館】

○開館時間

月～土:午前9時30分～午後7時
日：午前9時30分～午後5時30分

○休館日

火曜日、祝日、館内整理日

○おひざにだっこのおはなし会

毎月第3木曜日 午前10時30分～

【福島市子どもライブラリー】

○開館時間

毎日：午前9時30分～午後7時

○休館日

火曜日

○おひざにだっこのおはなし会

毎月第1木曜日・第3日曜日

午前11時～

学習センター図書館については、

各館にお問い合わせください。



『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文
瀬川 康男／え
童心社 (E-セカワ)

動物たちが「いないいないばあ」をしています。にやあにやも、くまちゃんも、こんこんぎつねもみんな、いないいない…ばあ。さあ、今度はあなたも、いないいない ばあ！

ぜひ、赤ちゃんと一緒に遊んでみてください。



『きゅっ きゅっ きゅっ』

林 明子／さく
福音館書店 (E-ハヤシ)

なかよしのうさぎさん、ねずみさん、くまさんと一緒に、おいしいスープをいただきまーす。あらら、こぼしちゃった。「きゅっ きゅっ きゅっ」きれいにふいてあげようね。あれ、まだお口のまわりにこぼしている子がいるよ。だれかな？

シリーズに『おててがでたよ』『くつくつあけるけ』『おつきさまこんばんは』があります。



『おひざでだっこ』

内田 麟太郎／ぶん
長谷川 義史／え
童心社 (E-ハセガ)

ぱんだのお母さんが赤ちゃんにおいでおいで、おひざでだっこ。一緒に絵本をめくりまわります。たぬきの親子はぼんぼこぼんとおなかをたたき、ねこの親子はおひざでねんね、ぞうの親子は一緒にくだものを食べて、ふたりですやすや…。

赤ちゃんをおひざの上に乗せて読んであげてください。



『もこもこもこ』

谷川 俊太郎／作
元永 定正／絵
文研出版 (E-モトナ)

なんにもない地面から、もこもこ、よきよきよき。なんだろう？ ふくれあがって、ぱくつと食べて、ぼろりと落とす。それがまたふくれあがって、ぱちんと弾けて、ふんふんわ…。

擬音とシンプルな絵で構成されています。自由な想像で様々なトリーが楽しめます。

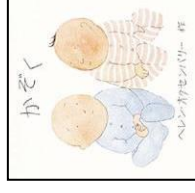


『ごぶごぶ ごぼごぼ』

駒形 克己／さく
福音館書店 (E-コマガ)

「ごぶごぶ ごぼごぼ」
「ふぷふ ふわーん」
青やオレンジの丸が、音と共に大小に変化していきます。

水の中にあるような不思議な音と鮮やかな色。ページには丸い穴も開いており、視覚と触覚を使って楽しめる本です。



『かぞく』

ヘレン・オクセンバリー／作
文化出版局 (E-オクセ)

おかあさん、おとうさん、おねえちゃん、おにいちゃん、それから…。赤ちゃんの周りにはいる人たちを描いた、文字のない絵本です。

シリーズに『あそび』『したく』『しごと』『ともだち』があります。



『じゃあじゃあ びりびり』

まつい のりこ／作・絵
借成社 (E-マツイ)

自動車や犬、掃除機などの身近な「もの」とその音が、シンプルな絵とはっきりした色で描かれていきます。

声に出してみたり、その「もの」のまねをしてみたりといろいろ楽しめるみ方があります。

「まついのりこあかちゃんのはん」シリーズの1冊。